

オスプレイの低空飛行訓練中止及び配備撤回を求める
意見書

日米両政府は、日本国民の不安と反対の声が広がる中、米軍垂直離着陸輸送機オスプレイを東京横田基地にも強行配備した。オスプレイは離着陸時や飛行中に発生する騒音や低周波などが、周辺住民に深刻な影響を及ぼす「危険な軍用ヘリ」と言われている。

また、オスプレイは立て続けに墜落事故を起こしており、多くの自治体住民が配備に強い懸念を示し、全国知事会もオスプレイの飛行訓練等に対して反対決議を挙げている。

そうした状況の中で今年の４月９日と同月１１日に本市でオスプレイの飛行が確認され、市民からは不安の声が寄せられている。

本市の山都町では、山都中学校上空を西から東に向かってオスプレイが並んで低空飛行しているのが目撃されている。

このまま本市上空での飛行訓練を黙認すれば、今後、将来にわたり、市民の生命に関わる由々しき事態が続くことになる。

よって、本市議会は、政府関係機関に対し、下記事項について強く要望する。

記

- 1 オスプレイの低空飛行訓練を中止すること。
- 2 オスプレイの配備を撤回すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年 6 月 20 日

喜多方市議会議長 齋 藤 勘一郎

【意見書提出先】

衆議院議長 大島 理森 殿
参議院議長 伊達 忠一 殿
内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
内閣官房長官 菅 義偉 殿
外務大臣 河野 太郎 殿
防衛大臣 岩屋 毅 殿